

安全データシート

作成日：2025 年 6 月 1 日

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称：	SATO MF インキ（黒）
供給者の会社名：	株式会社サトー
住所：	岩手県北上市北工業団地 1 番 2 5 号
担当部門：	株式会社サトー 品質統括部
電話番号：	0 1 9 7－6 6－4 9 8 4
FAX 番号：	0 1 9 7－6 6－4 9 8 5
推奨用途：	ハンドラベラー用インキローラー
使用上の制限：	推奨用途以外の使用は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 インキの GHS 分類を示す。製品はインキをローラーに塗工した成形品であり、GHS 分類の対象外である。

物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	区分 4
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 2（神経系）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2（呼吸器）
環境に対する有害性	
水生環境有害性短期(急性)	区分 2
水生環境有害性長期（慢性）	区分 2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない、分類対象外、分類できないのいずれかに該当する。

GHS ラベル要素



注意喚起語

危険

H302	飲み込むと有害
H318	重篤な眼の損傷
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い
H351	発がんのおそれの疑い
H371	臓器の障害のおそれ（神経系）
H373	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ（呼吸器）
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
 粉じん／煙／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
 取扱後は皮膚や眼をよく洗うこと。(P264)
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
 環境への放出を避けること。(P273)
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置

直ちに医師に連絡すること。(P310)
 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。(P314)
 口をすすぐこと。(P330)
 漏出物を回収すること。(P391)
 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312)
 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。(P308 + P313)
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305 + P351 + P338)

保管

施錠して保管すること。(P405)

廃棄

内容物/容器を廃棄物処理法及び地方自治体の条例に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

インキの組成及び成分情報を示す。製品は成形品であり、成分情報は対象外である。

単一化学物質・混合物の区別：混合物

化学名または一般名

化学名または一般名	濃度または濃度範囲	(化審法)	(安衛法)	CAS RN®
ソルベントブラック-7	1 ～ 5%	5-3143	既存	8005-02-5
ソルベントオレンジ-3	1 ～ 5%	-	-	495-54-5

ソルベントバイオレット-8	1 ～ 5%	5-3106	既存	52080-58-7
ベシックブルー-7	1 ～ 5%	5-1994	既存	2390-60-5
ジブチルヒドロキシトルエン (BHT)	1.0 %	3-540 9-1805	既存	128-37-0
カーボンブラック	8 %	5-3328 5-5222	既存	1333-86-4
非公開	残分	既存	既存	非公開

4. 応急措置

インキ部分に触れた場合は、以下の措置を行う。

吸入した場合：	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合：	多量の水で洗うこと。 皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 上下のまぶたの裏側も含めて、注意深く洗う。 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合：	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。
医師に対する特別な 注意事項：	対症療法 本 SDS を提供すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：	粉末消火剤、噴霧水、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤：	データなし
特有の危険有害性：	可燃性物質ではないが、燃焼により炭素及び窒素酸化物、刺激性の煙を発生する可能性がある。 消火水は汚染を引き起こすおそれがある。 衝撃や静電気の影響は受けない。
特有の消火方法：	消火活動は風上から行う。 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の特別な
保護具及び予防措置：

自給式呼吸器（SCBA）眼や皮膚を保護する耐熱性の完全防護服
を着用する。

6. 漏出時の措置

インキ部分が漏出した場合、以下の措置を行う。

人体に対する注意事項・
保護具及び緊急時措置：

作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止措置及び保護措置』の
項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

全ての着火源、熱源を取り除く。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

密閉された場所に立入る前に換気する。

風上から作業し、風下の人は待避させる。

漏出物を回収すること。

環境に対する注意事項：

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさない
ように注意する。

汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように
注意する。

封じ込め及び
浄化の方法及び機材：

漏出物を封じ込め、不活性材料（乾燥砂、土、珪藻土、バーミ
キュライトなど）で吸収し、行政の規制に従って密閉できる容
器に回収する。

二次災害の防止策：

環境規制に従って汚染された物体及び場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策：

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護
具を着用する。

安全取扱注意事項：

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん／煙／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

皮膚、眼との接触を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

接触回避：

『10. 安定性及び反応性』を参照。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

衛生対策：

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

取扱後は手や眼をよく洗うこと。

休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んでな

らない。

保管：

安全な保管条件： 直射日光を避けて、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料： 供給者が提供した容器と同等の材質

8. ばく露防止及び保護措置

インキのばく露防止及び保護措置を示す。

化学名または一般名	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
ジブチルヒドロキシトルエン (BHT)	設定なし	設定なし	TLV-TWA 2 mg/m ³
カーボンブラック	$E=3.0/(1.19Q+1)$ E: 管理濃度 (単位: mg/m ³) Q: 当該粉じんの遊離けい酸含有率 (単位: パーセント)	第2種粉じん 吸入性粉塵 1mg/m ³ 総粉塵 4mg/m ³	TLV-TWA 3mg/m ³

化学名または一般名	厚生労働大臣が定める 濃度基準 (8 時間)	厚生労働大臣が定める 濃度基準値 (短時間)
ジブチルヒドロキシトルエン (BHT)	10mg/m ³	—
カーボンブラック	レスピラブル粒子として 0.3mg/m ³	—

設備対策：

ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。

容器等は接地しアースを取ること。

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具：

呼吸用保護具：

適切な保護マスクや呼吸用保護具

有機ガス用防毒マスク

リスクアセスメントにより空気清浄呼吸器が適切と判断された場合、多用途呼吸器や全面防護マスクを使用する。規格に適合する呼吸器及び構成部品であること。

呼吸用保護具のみの場合、給気式全面防護マスクを着用すること。

手の保護具：

不浸透性の保護手袋を着用すること。取扱い量、濃度に応じて、適切な厚みの耐薬品性ゴム手袋を選択すること。JIS T 8116を参考にすること。

手袋は使用前に必ず検査し、適切な外し方をする（手袋の外面に触れずに手袋を脱ぐことで皮膚接触を防止する等）。適用法令および GLP に従い汚染された手袋を廃棄する。手を洗い乾燥させる。

眼、顔面の保護具：	保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）。
皮膚及び身体の保護具：	適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。 長袖作業衣、安全靴。必要に応じて不浸透性の素材を選択すること。

9. 物理的及び化学的性質

インキの物理的及び化学的性質を示す。製品は固体である。

形状：	液体
物理状態：	粘稠液
色：	黒色
臭い：	微臭
融点/凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	データなし
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：	データなし
引火点：	データなし
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	データなし
動粘性率：	データなし
溶解度：	データなし
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度または相対密度：	データなし
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし
その他：	蒸発速度：n-ブチルアセテートより遅い

10. 安定性及び反応性

反応性：	常温において反応性はない。
化学的安定性：	正しい取扱いや保管では安定。
危険有害反応可能性：	データなし
避けるべき条件：	混触危険物質との接触、加熱、火炎を避けること。
混触危険物質：	強酸化剤、強還元剤、酸
危険有害な分解生成物：	一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害性情報

インキの有害性情報を示す。製品は通常の取扱い時には有害性はない。

急性毒性(経口)：

区分 4

区分 3：ベイシックブルー-7（出典：ECHA）

区分 4：ソルベントオレンジ-3（出典：ECHA）

メーカーは、各成分の LD50 を次のように記載している。

・ソルベントブラック-7 LD50（ラット）=5200mg/kg

・ソルベントオレンジ-3 LD50（ラット）=1650mg/kg

・ソルベントバイオレット-8 LD50（ラット）=1400mg/kg

製品は、ATEmix 計算結果が 300～≤2000 であることから区分 4 に該当。

メーカーは分類していない。

急性毒性(経皮)：

区分に該当しない

区分に該当しない：ジブチルヒドロキシトルエン（BHT）

製品は、計算対象となる物質が存在しないため、区分に該当しない。

急性毒性(吸入：気体)：

分類対象外

製品は、GHS 定義による気体ではない。

急性毒性(吸入：蒸気)：

分類できない

データ不足のため分類できない。

急性毒性(吸入：粉じん・ミスト)：

分類できない

データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性・刺激性：

分類できない

区分 2: ソルベントオレンジ-3（出典：ECHA）

区分 2 の成分合計が 10%未満であるため、区分に該当しない。

成分加算の結果区分に該当しないとなるが、未知成分の合計が 0.1%以上存在するため、分類できない。

メーカーは区分 2 に分類している。データはなし。

眼に対する重篤な損傷・
眼刺激性：

区分 1

区分 1: ベイシックブルー-7（出典：ECHA）

区分 2B: ジブチルヒドロキシトルエン（BHT）

製品は、区分 1 の成分合計が 3%以上 であるため、区分 1 に該当。

メーカーは、区分 2B に分類している。データはなし。

呼吸器感作性：

分類できない

データ不足のため分類できない。

皮膚感作性：

分類できない

データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性：

区分 2

区分 2: ソルベントオレンジ-3（出典：ECHA）

製品は、区分 2 の各成分が 1%以上 であることから、区分 2 に該当。

発がん性：

区分 2

区分 2: カーボンブラック

製品は、区分 2 の各成分が 1%以上 であることから、区分 2 に該当。

生殖毒性：	メーカーは分類していない。データはなし。 分類できない 区分 2：ジブチルヒドロキシトルエン（BHT） 製品は、成分加算の結果区分に該当しないが、未知成分が0.1%以上存在するため分類できない。
生殖毒性・授乳影響：	分類できない データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	区分 2（神経系） 区分 1:ジブチルヒドロキシトルエン（BHT）（神経系） 製品は、ジブチルヒドロキシトルエン（BHT）の含有率が 1%以上 10%未満であるため、区分 2（神経系）に該当。 メーカーは分類していない。データはなし。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	区分 2（呼吸器） 区分 1: カーボンブラック（呼吸器） 区分 2:ジブチルヒドロキシトルエン（BHT）（肺、肝臓） 製品は、カーボンブラックの含有率が 1%以上 10%未満であるため、区分 2（呼吸器）に該当。 ジブチルヒドロキシトルエン（BHT）は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 メーカーは分類していない。データはなし。
誤えん有害性：	分類できない データ不足のため分類できないとした。

12. 環境影響情報

インキの環境影響情報を示す。製品は通常の取扱い時には環境への影響はない。

水生環境有害性短期（急性）：	区分 2 区分 1：ソルベントオレンジ-3、（出典：ECHA）、ジブチルヒドロキシトルエン（BHT） 製品は、（10×区分 1）+区分 2 が 25%以上のため、区分 2 に該当。 メーカーは分類していない。データはなし。
水生環境有害性短期（慢性）：	区分 2 区分 1：ソルベントオレンジ-3（出典：ECHA）、ベイシックブルー-7（出典：ECHA）、ジブチルヒドロキシトルエン（BHT） 製品は、（10×区分 1）+区分 2 が 25%以上のため、区分 2 に該当。 メーカーは分類していない。データはなし。
生態毒性：	データなし
残留性・分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし
土壌中の移動性：	データなし

オゾン層への有害性： 分類できない
本成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄においては、廃掃法及び関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装： 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

インキの輸送上の規制を示す。製品は非該当である。

国際規制

国連番号：	3082
品名：	環境有害性物質（液体） n.o.s（他に品名が明示されていないもの）
国連分類（クラス）	9
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78 付属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
海上（IMDG）	国連番号：3082 他に品名が明示されていないもの（液体） 国連分類（クラス）：9 容器等級：Ⅲ
航空（IATA）	国連番号：3082 他に品名が明示されていないもの（液体） 国連分類（クラス）：9 容器等級：Ⅲ

国内規制

陸上規制情報	消防法の規制に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号	171

15. 適用法令

インキの適用法令を示す。製品は非該当である。

労働安全衛生法:	名称等を表示すべき危険有害物（法第57条第1項） 名称等を通知すべき危険有害物（法第57条の2） ・ 2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール （規則別表第2の874 令和7年4月1日施行） ・ カーボンブラック （規則別表第2の403 令和7年4月1日施行） 化学物質による健康障害防止のための濃度の基準（濃度基準値設定物質） ・ 2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール （令和6年4月1日） ・ カーボンブラック（令和7年10月1日）
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	第一種指定化学物質 ・ 2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール （207、1%）
水質汚濁防止法	指定物質 ・ 政令第3条の3第55号 フェノール類及びその塩類 生活環境項目 ・ 政令第3条第5号 フェノール類含有量
消防法	製品は非危険物 インキは第4類第三石油類(非水溶性)に該当
化審法	優先評価化学物質 ・ 2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール
下水道法	法第12条の2
水道法	法第4条（2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール）

16. その他の情報

参考文献：	JIS Z 7252:2019 JIS Z 7253:2019 事業者向け GHS 分類ガイダンス(令和元年,経済産業省) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP) (NITE) ECHA(REACH 登録情報) 製造元メーカー提供資料
その他：	記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。 なお、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。 また、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものです。 全ての化学製品は、未知の有害性があり得る為、取り扱いには細心の注意が必要です。 ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます